



*高齢者の自動車事故多発対策

高齢者ドライバーによる悲惨な事故の多発について、限定免許制度の検討・アクセルとブレーキの踏み間違い防止・加速抑制装置の後付け搭載・安全装置搭載の新車・自動運転車実用化の加速等々が多く検討されています。一方、高齢者運転免許には、認知症検査が導入されているが、加齢に伴う判断力・体力の低下、視野障害などによる高齢者ドライバーの操作ミスが、依然として後をたちません。このような状況下、運転免許の自主返納率は、75歳以上は5%と低い水準にとどまっている。その一因として都市部と交通機関の少ない地方とでは、「生活の足」として車を欠かせないとする温度差があることも事実です。国交省は、「自動運転車」の実用化の加速に力を入れています。推進状況としては、メーカーとの温度差があり、実現までには、まだまだ時間が掛かりそうです。



*災害情報の段階が統一（一元化）

令和の梅雨入りは6月20日で平年よりも21日遅くなりました。遅い年は台風と大雨に注意が必要だそうです。気象庁は、スーパーコンピューターのおかげで、予報はすごく精度が上がり、どの地域で大雨が降るか、より地域市町村ごとの細かいデータを提供しています。また、夜間の避難を避けるために、夕方までに予報を出せるよう努力しています。



最近瞬間雨量が極端に多く、逃げ遅れることが多くなり、情報の一元化が図られました。

- | | | |
|-----|-------------|---------------|
| 5段階 | 命を守る行動を | 退避も危険で、できなくなる |
| 4段階 | 全員もれなく退避行動を | ← 4段階で退避 |
| 3段階 | 高齢者は退避行動を | ← 3段階で高齢者退避 |
| 2段階 | 避難行動の確認を | |
| 1段階 | 気象情報に注意 | |

4段階は退避と覚えてください。今年の台風は、去年より大型の可能性もあり、要注意です。

* 5泊6日 2157 kmの70歳夫婦の東北ドライブ旅行記（水口氏投稿）

6月15日から、悪天候の中、秋田、山形などをマイカーで旅行しました。70歳夫婦の旅行ですが、運転は私一人です。初日は新潟市で1泊し、翌日、仙北市の「あきた芸術村」に着きました。温泉の後、「田沢湖ビール」で乾杯し、美味しい食事に舌鼓を打ちました。翌日、劇団「わらび座」のミュージカルを鑑賞し、そのダンスに元気をもらい、歌声に魅せられ、演技に引き込まれ、その物語に感動しました。その夜は、そこから少し北の「新玉川温泉」に泊まりましたが、ここは、これまで入った温泉とは全く異なり、皮膚がピリピリするほどの強酸性で効能が高そうな温泉でした。次の日は山形市でサクランボ狩りをしましたが、スーパーのサクランボと変わらず期待外れでした。夜は「蔵王温泉」に泊まり、気持ちの良い乳白色の硫黄泉にゆっくり浸ることができました。二人ともぐっすり寝ていたところ、強い揺れに飛び起きました。「新潟・山形地震」でした。特に被害

はありませんでしたが、旅行先での地震に不安を感じました。5日目は、前夜の地震の影響で噴火しないかと心配しながら「蔵王お釜」を覗きに行きました。白い雪の残る茶色い火口に緑色の湖が見えました。そのあと裏磐梯の「五色沼」に行きました。雨にぬれた緑の中の青い沼は、目の保養になりました。また雄大な「会津若松城」を見て、白虎隊の少年たちの悲劇に思いを馳せました。最後に見附市で1泊しました。



長距離、長時間のドライブでしたが、道中地元の美味しい物を食べたり、ゆっくりと贅沢な時を過ごし、夫婦でまた長距離ドライブしてみたいと思わせてくれる疲れを感じない良い旅でした。

*送迎ボランティア（西村博氏投稿）



私は、右京区福祉センターの送迎ボランティアに応募し、個人であるボランティアの体験をしました。センターの指示で嵯峨野清涼寺近くの車椅子の男性の送迎を行いました。当日は、センターに車を借りに行き、高尾病院や山ノ内の透析病院等に送り、時間も掛かり車の中で待つのが苦労でした。車椅子の男性は囲碁の趣味があり、囲碁会館までの送迎をするが、エレベーターがない2階まで連れて行くのに苦労しました。私は、階段を下りる時に足を痛める事もありました。その後、車椅子の男性は、娘さんの住む滋賀県堅田に移転され、送迎ボランティアは終了しました。その後本人から「有難う」の言葉を頂きました。ボランティアは、無報酬と思いついていましたが、交通費として一回千円を頂いたが、生涯学習センターの方へ寄付させていただきました。

*お得情報

「中野家住宅」が居酒屋に変身オープン！！

中野家住宅は江戸時代末期の大型民家で、国登録有形文化財。この古民家を改修して、新たに一般社団法人「暮らしランプ」さんが居酒屋「おぼんざい&お酒 なかの邸」をオープンしました。

この店の特徴は、調理や接客のスタッフは障害をもつ人たちの夜間就労と就労継続を目的に始められた取り組みだそうです。客席は畳の部屋で、座椅子席とテーブル席があり、料理は地元野菜や新鮮な魚を使ったおぼんざいなど、家庭的な料理が味わえます。また夜には手入れされた庭がライトアップされ、夜景を眺めながら飲むお酒も最高です。一度訪れてみてはどうでしょう。



場所：調子1丁目6-35 ☎：075-874-4727 要予約

*分科会紹介——「スポーツ吹き矢」（邨山リーダー）

マイナーな競技の代表格ながら高齢者には最適なスポーツです。

激しい動きもなく腹式呼吸で腕を上げ下げ、背筋を伸ばした正しい姿勢で、矢を勢い良く吹くと吹き矢が「バスッ」と的に突き刺さる音は爽快で、ストレス解消疑いなしです。

例会は、隔月1回、「こらさ」にて開催。常時12～13名出席。初心者大歓迎です。